

校 訓
志操凜風 進取創造 自彊不息

本校の教育目標
「21世紀の社会を担う人材育成」 心身ともに健全で、地域社会及び国家に貢献するとともに、グローバルな視点に立って地球社会をリードできる有為な人材を育成する。

生徒の実態、教師の願い
生徒は素直である。基礎学力を培い、自己肯定感と自己有用感を高め、達成感を持たせたい。具体的には、一人一人の能力に合わせた学習に取り組んだり様々な学校行事への積極的に参加したりすることで、協調・協働の精神を育み、社会で自立できる人になって欲しい。

保護者や地域の願い
生徒が自己理解を深め、希望する進路を実現させるために基礎学力の定着・向上を目指す。次世代の社会を担う後継者として、地域社会に積極的に貢献できる人になって欲しい。

「志教育」の目標
1 高い志と豊かな情操を備え、他人を思いやる優しい気持ちを持つ人になることを目指す。 2 新しい時代に適応し、地域社会に貢献できる人材になることを目指す。 3 日々の学習を通じて学ぶ大切さを身に付け、何事にも粘り強く取り組む人になることを目指す。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
自己理解を深め、月ごとに計画する学校行事を通して、集団の中で人と関わり合うことの大切さを実感させる。周囲の人との適切なコミュニケーションを取りながら、協力して問題を解決できる力を養う。	インターンシップや職場見学等の体験学習を通して、自らの適性を考えさせる。様々な人と面談することにより、自分の進路を実現するために必要な取り組みを理解させることで、有意義な高校生活を過ごせるようにする。	校内の総合学習や地域社会の活動等に主体的に参加することを通して、責任を持って自分の役割を果たすことや奉仕の気持ちを育む。達成感や成就感を持たせることで、自己肯定感を高めるとともに集団の一員としての自覚を持てるようにする。

各教育活動における取組の観点	
各教科	毎日の学習を通じて学ぶことの大切さを理解し、自分から学校や家庭での学習に取り組む姿勢を養う。各教科で基礎基本をよく理解し、学んだことを実生活で活用できる力を養う。
道徳	本校の教育活動全体を通じて、自立・能動・進取の精神と生活態度を涵養する。積極的に学校内外の活動に関わることで、公共心や公德心を養い、地域社会と国家、グローバルな社会に貢献する態度を養う。
総合的な時間 探究	インターンシップや職場見学等の活動を通じて、自分の進路や社会で働くことの意味を考えさせる。地元のNPO法人や地域の方々の協力を得ることで、地域社会や自然環境を改善したり守ったりすることを探究する。
特別活動	レクリエーション大会、文化祭等の学校行事に積極的に参加し、周りの人と協力して活動する経験を積むことにより、集団の中で自分が果たす役割を学ぶ。
その他	七ヶ宿の自然と親しむ機会を積極的に設けることで、自然と共存する生き方を考える。地域に奉仕する奉仕活動(ゴミ拾い、除雪ボランティア等)に参加することで、奉仕活動の精神を育み、環境美化に努める姿勢を涵養する。

各学年の取組内容	
1年	自己理解 ①オリエンテーション(学校生活全般) ②レクリエーション大会(2,3年生との交流・クラス内の団結) ③ボランティア活動(学校設定科目「奉仕活動」、自己理解) ④文化祭(地域社会との交流) ⑤進路ガイダンス(進路学習) ⑥担任との面談(学習活動、学校生活の相談) ⑦クラブ活動(同級生や2,3年生との交流)
2年	協調・協働 ①レクリエーション大会(1,3年生との交流・クラス内の団結) ②インターンシップ(進路実現に向けた進路意識の深化) ③文化祭(地域社会との交流) ④進路ガイダンス(学校設定科目「就業体験」、進路学習) ⑤担任との面談(学習活動、学校生活の相談) ⑥クラブ活動(同級生や1,3年生との交流) ⑦修学旅行(他地域の見聞の拡大)
3年	社会人としての自律 ①レクリエーション大会(1,2年生との交流・クラス内の団結) ②企業説明会・応募前職場見学会及び学校説明会・オープンキャンパスへの参加(進路実現への具体的な取組み) ③文化祭(地域社会との交流) ④担任との面談(学習活動、学校生活の相談) ⑤クラブ活動(同級生や1,2年生との交流) ⑥進路学習(学校設定科目「ライフデザイン」、進路志望達成への具体的な準備)
4年	(3年と同様)

家庭との連携
七校便りや学校ホームページ、PTA活動、学校公開等を通じて、本校の教育活動が家庭においても生かされる取り組みとなるように促進する。生徒を見守り支援する関係を築き、生徒の学習意欲や生活態度、進路意識の高揚に関する活動を通して、家庭との連携を図りながら取り組む。

地域・企業との協働
地域や企業、各種団体の有識者を招いての進路講話、企業説明会やインターンシップ等により、生徒に望ましい職業観を育成するとともに、生徒の進路実現に向けて企業と学校との連携を深化させる。